

ハローワーク等における 就職支援事例

I 非正規労働者総合支援センター
(キャリアアップハローワーク)
での就職支援

キャリアアップハローワークでの就職支援①

女性：27歳 希望職種：キャラクターデザイナー
直近の雇用形態：非正規労働者

派遣（1年2カ月）、月収は約10万円。
※それ以前も1年未満の契約社員、派遣を繰り返してきた。

① 抱える課題

- ・大学は造形学科を卒業。美術・デザイン関係の業務を希望して、アニメ関連の仕事（短期就労）を繰り返していた。
- ・希望職種は、一般的に企業規模が小さく、正社員募集が少ないことで、応募機会が少ないため、デザイン関連のスキルが伝わるよう応募書類の見直しが必要。
- ・コミュニケーション能力の不足。



② 支援内容・ポイント・経過

- ・履歴書・職歴書にデザイン関連のパソコンスキルを明記。
- ・応募書類に魅力をつけるため、本人がキャラクターデザインした作品を応募書類として添付できるように、A4、5枚にまとめ、作画もアピールできるように改善。
- ・さらに、面接時に持参する作品集も2～3冊準備させ、作品の見せ方も整理・工夫するように助言。
- ・一方、デザイナー業務であっても、お客様との打ち合わせにはコミュニケーション能力が必要と説明。今まで自身がアニメ関連の短期就労で身に付けたスキルを、応募職種の仕事内容につなげ、自己PRできるように、アドバイスと模擬面接を繰り返し行った。



③ 結果

- ・ゲームグラフィック制作会社の「CGデザイナー」として、正社員採用（月収20万円）

※支援期間9カ月

④ 定着状況

- ・採用後6カ月時点で、iPhoneのアプリケーション開発（会社の新規業務）を担当。自信と責任感をもって仕事をしている。
- ・一方、社内の人間関係では悩みがある様子だったので、仕事帰りにHWへ来所するよう助言。

キャリアアップハローワークでの就職支援②

男性：26歳 希望職種：未定
直近の雇用形態：アルバイト（1年）、
※それ以前は、正規雇用（1年）、アルバイト（4年）。

① 抱える課題

- ・高校卒業後、希望職種が絞り込めず、パチンコ店のホール系のアルバイトに4年間従事。その後、正社員を希望し、不動産会社のカウンター営業に1年間従事したが、労働時間が長いことを苦に退職し、再びパチンコ店のアルバイトをしていた。
- ・正社員の希望は強いものの、どのような仕事についていたら良いかわからない。



② 支援内容・ポイント・経過

- ・どのような仕事に向いているかを見極めるため職業興味検査の実施。
 - ・面談と職業興味検査の結果から、接客に向いていることを再認識。
 - ・今までの接客経験を活かした自己PRの作成指導を行うとともに、志望動機を固めて、模擬面接とアドバイスを繰り返し行った。
 - ・接客業を中心とした求人の中から、携帯電話の販売職求人（※若年者トライアル雇用対象求人）を紹介。
- ※職業経験、技能、知識等の不足により就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用（原則3か月）し、双方の理解を深め、正規雇用につなげる試行（トライアル）雇用奨励金対象求人



③ 結果

- ・携帯電話を販売する会社の「販売職」として、若年者トライアル雇用による採用（月額20万）

※ 支援期間1カ月。平成23年12月より正社員移行。

④ 定着状況

- ・採用後2カ月時点で、スマートフォンの販売を担当。仕事は忙しいが、非常に明るい声で、「楽しくやっています」とのこと。トライアル期間中だが、他店舗が忙しいときは、応援を任されるほどになり、自信とやりがいを持って仕事をしている。

Ⅱ 若者の就職支援

若者の就職支援①

～不安を解消しながらの希望業種への就職～

25歳男性 大学院(化学)→既卒1年目 希望職種：専門を生かした研究開発

① 抱える課題

- ・勤務地にこだわらず全国の求人で、研究開発職を探して就職活動を行ったものの、結果が出なかった。
- ・夏になっても決まらなかったため、大学で専攻した化学系の研究職だけでなく、製造系の仕事にも希望業種・職種を広げること検討し始めていた。しかし、仮に製造系の仕事に就職したとしても、第一志望の化学系の研究開発職で就職できなかったために、就職後すぐに辞めてしまうかもしれないという不安もある。
- ・書類選考は問題ないが、面接では消極的な印象が不利に働くことが心配。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・地元での研究開発職の求人を新たに開拓することとし、ジョブサポーターがチラシやネットの情報から管轄内の企業訪問を実施。「新卒者を採用したことがないので学卒求人の出し方がわからない、専門以外の応募者への対応に困るので控えていた」という企業に対し、求人票に仕事の内容や必要とするスキルなどを分かりやすく書くようアドバイスをし、求人を出してもらい、紹介。
- ・本人に対しては、訪問時に感じた企業の印象を伝えるとともに、自分自身でも企業研究を行うようアドバイス。加えて、面接での注意点をアドバイス。

③ 結果

- ・地元食品会社の「研究開発職」として採用（月収25万円）

※支援期間3か月

若者の就職支援②

～本人と母親の希望を踏まえた支援～

20歳女性 短大(保育学科)→既卒1年目 希望職種：接客業

① 抱える課題

- ・保育学科卒業予定だが保育士になることは希望しておらず、服飾関係の販売を希望。しかし、就職活動開始が遅かったため、自己分析・企業研究が不足していた。
- ・また、応募した求人を母親の反対により2件辞退したことがあるなど、母親の影響力が強い。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・面接時に「なぜ保育士を希望しないか」という指摘をされることが予想されたため、ジョブサポーターとともに、実習などを通して在学中に感じた「保育士になることへの違和感」について改めて考え、言葉にできるようになった。
- ・当初は服飾関係だけでなく、飲食業でのアルバイト経験があったことから飲食業も含めて接客の仕事を探していたが、業種を絞り込んだ方が集中できると判断した結果、服飾関係に絞り込むことにした。
- ・母親と本人が一度ゆっくり話す機会を設け、新卒労働市場の現状と本人の希望を伝え、協力体制を整えた。母親は娘に「夜遅くまで働かないでほしい」という希望があったため、応募前に母親と相談し、納得してもらった上で応募した。

③ 結果

- ・3年以内既卒者トライアル奨励金を活用し、服飾関係の「販売職」（正社員）として採用。
その後、より通勤しやすい同業種、同職種に転職。

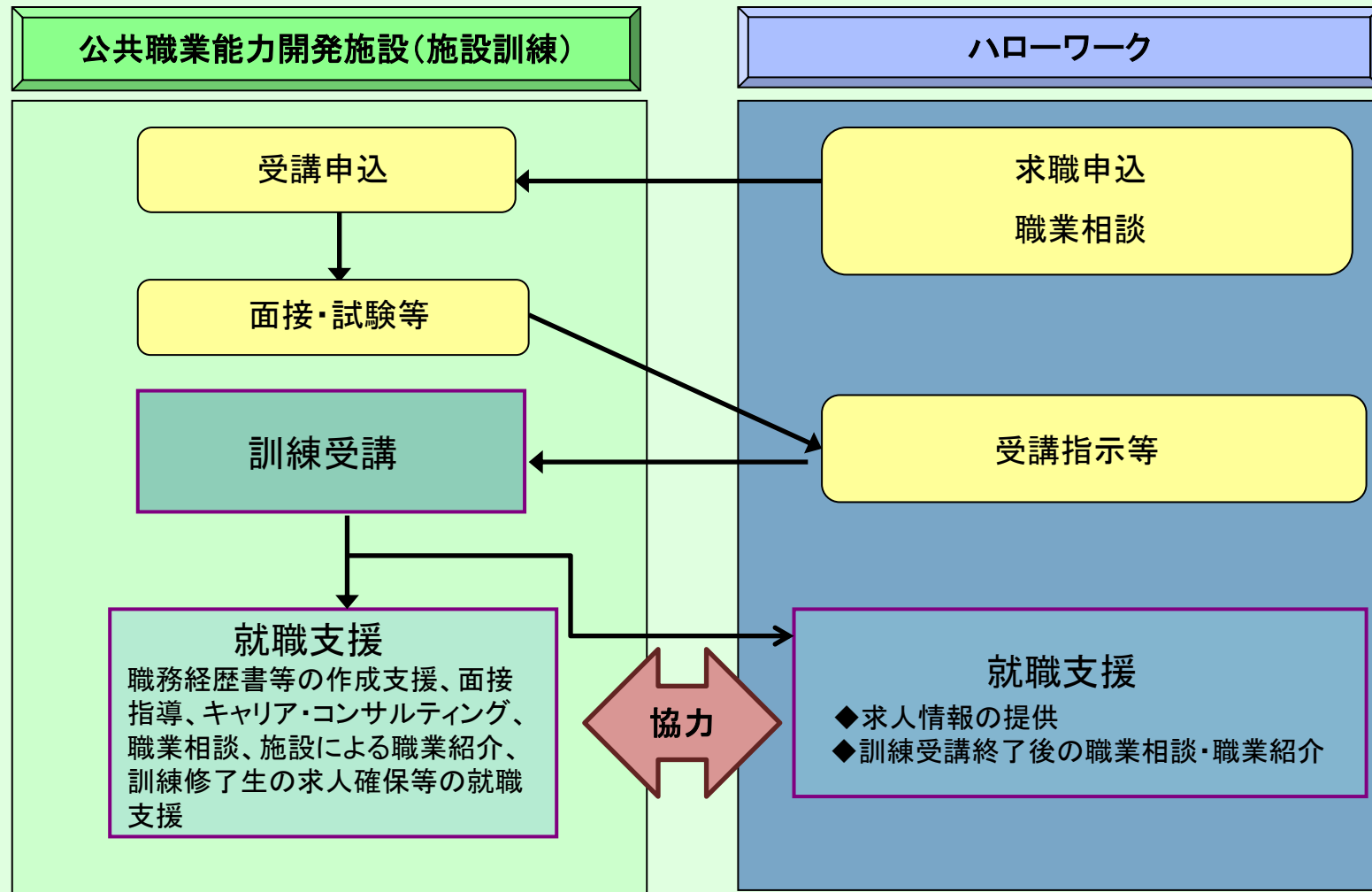
※支援期間2か月

Ⅲ 職業訓練の活用

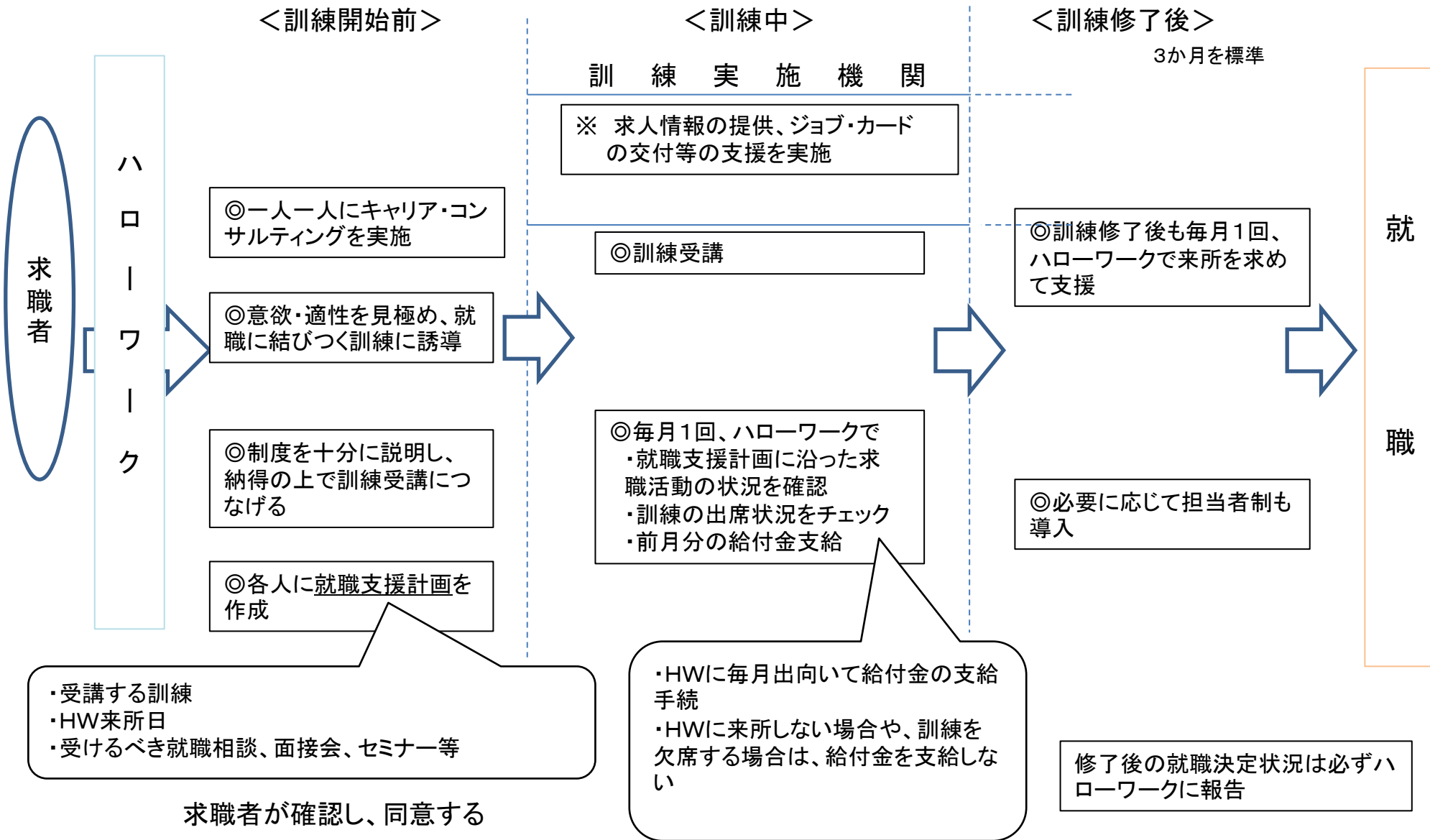
公共職業訓練受講から就職支援の流れ(施設内訓練)

離職者訓練を受講することが、①適職に就くために必要であると認められ、かつ、②職業訓練を受けるために必要な能力等を有すると公共職業安定所長が判断した方に対して、受講をあっせん。

就職支援は、公共職業能力開発施設とハローワークが協力して、実施。



求職者支援制度における求職者に対する支援の流れ



公共職業訓練の活用（ビル設備サービス科）

男性：33歳

直近の雇用形態：非正規労働者（アルバイト）

訓練内容：A職業能力開発促進センター ビル設備サービス科（6ヶ月） 平成22年9月修了生

① 受講動機

・これまで、正社員の経験がないまま、コンビニエンスストアのアルバイトとして働いていたが、正社員として働きたいと考え、ハローワークで相談した結果、職業訓練の受講により電気関連知識を習得し、接客対応の経験を活かしてビル設備サービス会社の正社員になることを希望。



② 職業訓練受講中における主な訓練・支援内容

・ビル管理技術者として必要となるビル建物の電気設備の点検、冷暖房空調設備、給排水衛生設備や消防防災設備の点検及び運転・管理に関する知識と技能・技術を習得できるよう、実習を通じて担当指導員が点検のポイントなどきめ細かく指導した。

【希望職種への就職実現に向けて取り組んだ訓練内容(主なカリキュラムの抜粋)】

- ・電気配線工事[電気配線工事に関する技能、関連知識を習得] 訓練時間:108時間
- ・電気設備保安全管理[シーケンス制御、受変電設備及び非常用電源設備に関する技能、関連知識を習得] 訓練時間:108時間
- ・空調設備保安全管理[ビル空調設備の保守管理と故障診断に関する技能、関連知識を習得] 訓練時間:108時間
- ・給排水衛生設備管理[給排水衛生設備の工事と保全に関する技能、関連知識を習得] 訓練時間:108時間

③ 就職支援

- ・コミュニケーションが苦手であったため、コミュニケーション能力の高い訓練生とペアにしグループワークを繰り返すとともに、模擬面談を何回も実施した。
- ・また、担当指導員とキャリア・コンサルタントが連携してジョブ・カードを活用し、自己理解に関する支援を実施した。さらに、履歴書・職務経歴書・送り状・お礼状を添削・指導した。
- ・これら支援の結果、円滑なコミュニケーションが行えるようになり、面接試験において自己PRすることができ、就職につながった。



④ 結果（ハローワークからの紹介事業所）

- ・C株式会社の「ビル設備管理技術者」として正社員採用（月収17.5万円）



シーケンス制御実習



訓練風景（ボイラー点検指導）

⑤現在

県内で有名なビルの設備管理技術者として、集中管理室やビル内の巡回・管理等を行うなど、C社が期待する中堅社員として活躍している。

基金訓練の活用（医療事務基礎科）

女性：33歳（両親と同居） 希望職種：医療事務

直近の雇用形態：パート

転職回数5回（うち正規雇用2回）

※洋服の販売員、生命保険外交員、美容室、一般事務員を経験

訓練内容：医療事務基礎科（訓練期間3カ月）

① 抱える課題

- ・ 高齢の両親を支える必要があり、長く働くことができる安定した職業を希望
- ・ 希望職種に係る専門知識、スキル不足
- ・ 希望職種は、経験者優遇の求人が多く、未経験者として応募をしても面接に至らず自信を失っていた
- ・ 経験不足による面接への不安



② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 緊急人材育成支援事業（基金訓練）の医療事務基礎科（訓練期間3カ月）を受講あっせんすることにより専門知識等の取得を促す
- ・ 応募人数や年齢を気にして応募をためらう傾向が見られたため、必要以上に気遣うことなく積極的に行動することを職員と約束
- ・ 書類選考（志望動機、自己PR）の大切さへの理解を求め、3カ月の個別支援期間の中で自己理解・自己分析に時間をかけ、応募書類の深化を図った
- ・ 模擬面接を繰り返し行うことにより、面接に対する自信をつけさせ、強みと考えているコミュニケーション能力の高さを自分の言葉でアピールできるまでになった



③ 結果

- ・ 13社目の応募において、病院の医療事務業務に、正社員として採用（月収13万円）

※支援期間8カ月

IV 生活保護受給者の就職支援

生活保護受給者の就職支援

男性（33歳）

直近の状況： 製造業で機械組立作業をしていたが、リーマンショックの影響を受け、仕事が激減し、解雇・失業
資産もなかったことから生活保護受給

① 抱える課題

- 希望職種は、機械組立作業であったが、この職種の求人募集が不足
- 機械組立作業の経験しかなく、自動車運転免許以外の資格・免許がない
- コミュニケーション能力の不足



② 支援内容・ポイント・経過（ハローワークと福祉事務所による「就労支援チーム」で支援を実施）

- ハローワークと福祉事務所の担当者により構成される「就労支援チーム」の面接を受け、本人の抱える課題などを話し合い、就職に結び付けるための就労支援プランを策定
- 担当者制による継続的な職業相談を行い、本人との信頼関係を構築するとともに、コミュニケーション能力を身につけるためのアドバイスを実施
- 比較的就職に結びつきやすく、本人の適性、能力に合う入出庫作業の職種で求職活動をすることを提案
- 入出庫作業に必要なフォークリフト運転資格を取得するようアドバイスし、講習受講後フォークリフト運転資格を取得
- 運送会社の入出庫作業職を職業紹介



③ 結果

- ・ 運送会社の「入出庫作業職」として、正社員採用（月収20万円）
生活保護受給を停止（生活保護受給者からの自立）

※支援期間6カ月